

BUDŌ

NEWS

今月のニュース



第53回和道会全国空手道競技大会



日本武道学会第50回記念大会
第2回国際武道会議



平成29年度全国警察
柔道・剣道選手権大会



組手団体戦一般男子の部決勝
中堅戦＝東洋大牛久櫻和会・中込（右）の中段突き



組手団体戦一般男子の部優勝＝東洋大牛久櫻和会



組手団体戦一般男子の部決勝
先鋒戦＝東洋大牛久櫻和会・滝口（右）が上段突きを決める

第53回和道会全国空手道競技大会

組手団体戦一般男子の部

東洋大牛久櫻和会が圧勝で初制覇

組手団体戦一般女子の部

白水修養会が接戦を制して初優勝

第53回和道会全国空手道競技大会
（主催）全日本空手道連盟・和道会
は8月19日（浦安市運動公園総合体育館）・20日（日本武道館）で開催された。大会には、小学1年生から50歳以上のシニアまで約2000名が参加。組手26部門、形16部門の計42部門で試合が行われた。

◆組手団体戦

▽一般男子の部

11チームが出場。決勝は、東洋大牛久櫻和会と3連覇を狙う東京大学拳法会Aの顔合わせ。

先鋒戦、東洋大牛久櫻和会・滝口と東京大学拳法会A・柴山が対戦。滝口は軽快な動きから上段突きを決めて4―1で快勝。続く次鋒戦、東洋大牛久櫻和会・藤原も勝利して、東洋大牛久櫻和会が早くも優勝に王手をかける。中堅戦、東洋大牛久櫻和会・中込は連勝した勢いそのままに、突きで得点を積み重ねてゆく。相手を圧倒した中込は8―0で完勝。東洋大牛久櫻和会が東京大学拳法会Aの3連覇を阻んで初優勝を果たした。



組手団体戦都道府県対抗の部決勝
大将戦＝愛知・櫻井（左）が上段突きを放つ



組手団体戦一般女子の部決勝
中堅戦＝白水修養会・吉村（左）が上段突きを決める



組手団体戦一般女子の部優勝＝白水修養会



組手団体戦一般女子の部決勝
大将戦＝白水修養会・宮崎（右）が攻める

◎優勝Ⅱ東洋大牛久高和会・中村平
八監督

「全員よく頑張りました。選手は自ら勝つ方法を考えていましたので、私は何もしていません。大会のレベルが上がって簡単には勝てませんが、来年も花を咲かせたいです」

◎優勝Ⅱ東洋大牛久高和会・滝口尊人選手

「後ろが信頼できる先輩だったので安心して試合ができました。相手選手にパワー負けしていたので、間合いを取って、得意の引き打ちを狙いました。完璧な動きができました」

▽大学生男子の部

12チームが出場。決勝は3年連続で明治大学と立教大学の顔合わせ。副将戦を終えて明治大学が2―1とリード。大将戦は明治大学・伊藤が上段突きで攻めて3―1で勝利。明治大学が3連覇を達成した。

▽一般女子の部

19チームが出場。決勝は白水修養会と東洋大牛久高高校の対戦。先鋒戦は東洋大牛久高が勝利して先制。中堅戦、白水修養会・吉村は、東洋大

牛久高・吉沼との接戦に3―2で勝利して、優勝に望みを繋ぐ。大将戦、白水修養会・宮崎は安定した試合運びを見せ、3―1で勝利を収めて白水修養会が初の頂点に立った。

◎優勝Ⅱ白水修養会・荒川尊祐監督

「勝因はメンバーが幼稚園の頃から一緒に練習をしてきたことです。これまでで作られたチームワークが試合で発揮できたと思います。決勝は中堅で繋いで大将で決めるという、筋書き通りでした。来年もこのメンバーで連覇を目指したいです」

▽都道府県対抗の部

9チームが出場。決勝は愛知県と茨城県が対戦。3―2で愛知県が勝利して、この種目で初優勝した。

◆組手個人戦

▽一般男子有段の部

48名が出場。決勝に進出したのは岡本小鉄（三井造船玉野）と川瀬優（東洋大牛久高和会）。岡本は刻み突で先制し、試合終盤にも突きでポイントを奪い、2―0で勝利。岡本が嬉しい初優勝を飾った。



形個人戦一般男子有段の部優勝＝伊藤祥太



組手個人戦一般男子有段の部決勝＝岡本（右）が刻み突きで先制する



形個人戦一般女子有段の部優勝＝児玉百奈美



組手個人戦一般女子有段の部決勝＝鈴木（左）が上段突きを決める

◆形個人戦

▽一般男子有段の部

30名が出場。2連覇中の伊藤祥太

◎優勝Ⅱ岡本小鉄選手（三井造船玉野）

「積極的に得意な刻み突きを出せたことが優勝に繋がりました。色々な大会を含めて久々に優勝できたので、地元の岡山に帰るのが楽しみです。電柱に向かって、技を正確に当てる練習をしたり、ゴムチューブで突きのスピード強化も図りました」

▽一般女子有段の部

31名が出場。決勝は、立教大学に在学中の鈴木葉未と協阪佳美の先輩後輩対決となった。試合は1―1で同点になるも、先取していた鈴木が勝利。鈴木が初優勝に輝いた。

◎優勝Ⅱ鈴木葉未選手（立教大学）

「自分は2年生で、決勝の相手は4年生の先輩です。手の内を知っているの、やりづらかったです。普段はマウスピースで練習していて、メソッドはつけないのですが、そんな状況でも集中して試合できたことが勝因だと思います」

（名空会福井）と古橋卓也（名空会本部）が決勝に進出。3年連続で同じ顔合わせの決勝となり、伊藤がチントウ、古橋がセイシヤンを演武。

判定の結果、5―0で伊藤が勝利して大会3連覇を達成した。

◎優勝Ⅱ伊藤祥太選手（名空会福井）

「古橋選手は緩急のつけ方が上手で、柔らかい動きの中に芯があるので、それに負けないスピードやキレを意識して演武しました。支部の先輩で、世界チャンピオンの古橋選手と戦えて光栄です。3連覇という結果に驕らず上を目指していきます」

▽一般女子有段の部

25名が出場。決勝は昨年と同じく児玉百奈美（茂原）と鈴木美晴（千秋会）が対戦。児玉がチントウ、鈴木がセイシヤンを披露。判定の結果、4―1で児玉が勝利。児玉が2年ぶりの優勝を果たした。

◎優勝Ⅱ児玉百奈美選手（茂原）

「女王の座を奪還しようと頑張りました。和道に忠実であることを心がけ、スピードと力強さを出せるようにしました。練習では他の道場の先生にも形を見てもらいました」



組手個人戦少年男子の部
優勝＝藤原晃也（右）



組手個人戦一般女子有級の部
優勝＝清野真央（右）



組手個人戦小学1年男女の部
優勝＝大野心華（右）



形個人戦シニア女子40歳以上の部
優勝＝雑賀弘美



形個人戦少年男子の部
優勝＝舟田葵



形個人戦小学4年男女の部
優勝＝刑部直人

【大会結果】※優勝のみ

《組手団体戦》

▽都道府県対抗Ⅱ愛知県▽一般男子Ⅱ東洋大牛久櫻和会▽大学生男子Ⅱ明治大学▽一般女子Ⅱ白水修養会▽少年男子Ⅱ白水修養会B

《組手個人戦》

▽一般男子有段Ⅱ岡本小鉄（三井造船玉野）▽大学生男子有段Ⅱ櫻井隼人（名空会本部）▽一般男子有級Ⅱ藤田侑大（名空会本部）▽一般女子有段Ⅱ鈴木菜未（立教大学）▽一般女子有級Ⅱ清野真央（東京大学）▽シニア男子50歳以上Ⅱ藤本秀樹（神岡道場）▽シニア男子40歳以上Ⅱ平岡誠（神岡道場）▽シニア女子40歳以上Ⅱ齊藤師保（一道塾）▽少年男子Ⅱ藤原晃也（知空会横山）▽少年女子Ⅱ南保空花（明空義塾）▽中学男子Ⅱ小梢蓮於（浜松修学舎）▽中学女子Ⅱ笈沼美音（白水修養会）▽小学6年男子Ⅱ安井碧波（水風会名東）▽小学6年女子Ⅱ石原水晶（中津川）▽小学5年男子Ⅱ加藤馨（美濃）▽小学5年女子Ⅱ小花美月（越谷修道館）▽小学4年男子Ⅱ内匠勇一朗（美濃）▽小学4年女子Ⅱ奥村友紀（旭）▽小学3年男女Ⅱ小森八一（美濃）▽小学2年男女Ⅱ山口璃貫（美濃）▽小学1年男女Ⅱ大野心華（水風会愛西）

《形個人戦》

▽一般男子有段Ⅱ伊藤祥太（名空会福井）▽一般男子有級Ⅱ上村元彦（昇政塾）▽一般女子有段Ⅱ児玉百奈美（茂原）▽一般女子有級Ⅱ小高いのり（茂原）▽シニア男子40歳以上Ⅱ沖本貫志（岩国）▽シニア女子40歳以上Ⅱ雑賀弘美（昇政塾）▽少年男子Ⅱ舟田葵（津）▽少年女子Ⅱ畠中ほのか（小牧）▽中学男子Ⅱ和田空也（津）▽中学女子Ⅱ井桁芽香（茂原）▽小学6年男女Ⅱ邊田花乃（白水修養会）▽小学5年男女Ⅱ森岡秀哉（北方）▽小学4年男女Ⅱ刑部直人（名空会研修センター）▽小学3年男女Ⅱ室伏優衣（岐東）▽小学2年男女Ⅱ面家早百合（岐刑）▽小学1年男女Ⅱ照井心陽（無心会）

日本武道館の単行本

空手評論家
金城

裕
(さんじょう ひろし) 著

唐手から空手へ

題字 松永光 日本武道館会長

唐手から空手へ

日本武道館

金城 裕

(四六判・上製・四五四頁)

今の空手は、その源流である唐手^{からて}の精神と伝統の技を忘れて成長してしまった。空手の将来に豊かな展望を持つためにも、唐手誕生の歴史を正しく認識する必要がある――。

空手修業歴八十年。生涯を空手に捧げてきた著者が史料を繙きながら、唐手が誕生し、空手となった過程を辿る。武道研究者必携の一書。

〈目次〉

- 第一章 「唐手」とは、の問いに答える
- 第二章 中国拳法を巡って
- 第三章 琉球と中国の関係史
- 第四章 松村宗昆、「手」に息吹きを与える
- 第五章 首里手から唐手へ
- 第六章 「唐手」から「空手」へ
- 終章 空手の進むべき道



編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本

日本の武道

日本武道館 編



一千数百年の歴史を有する武道の全容を一冊に集大成。武道小百科事典としても役立つ充実の巻末資料など、武道関係者必携の書。

(B5判・上製・箱入・526頁)

我が空手人生

金澤弘和 著



国際松濤館空手道連盟館長 金澤弘和 著
父母の教え、「からて」との出会い、厳しい修行、組織の結成、そして独自の空手理論構築まで、世界に空手を普及した男の記録。

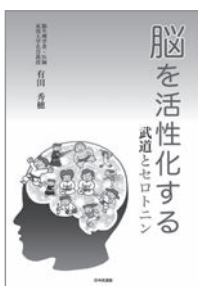
(四六判・上製・372頁)

脳を活性化する

武道とセロトニン

東邦大学名誉教授

有田秀穂 著



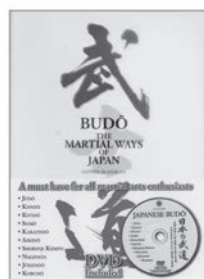
人間の心身を安定させるセロトニン——。その研究の第一人者が、誰もができる脳を活性化させる方法をわかりやすく解説。

(A5判・並製・346頁)

BUDŌ:

THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編



武道のすべてを網羅した『日本の武道』の英語版。海外武道修業者におすすめの書。

(B5判・上製・336頁・DVD付)

マンガ・武道のすすめ

漫画家・別府大学教授 田代しんたろう 著



漫画家・別府大学教授 田代しんたろう 著
武道の良さ、すばらしさを、わかりやすく描く。大人も子どもも読んで楽しく、ためになる武道教養マンガ。空手道は5話を掲載。

(B5判・並製・236頁)

大先輩に聞く

月刊「武道」記者

田谷将俊 著



各武道の先達三十名に直接取材。武道との出会いから修行時代、そして現在を語る。空手道では江里口栄一、辻川禎親、金城裕の3氏を収録。

(四六判・上製・376頁)

平成29年度全国警察柔道・剣道選手権大会

平成29年度全国警察柔道・剣道選手権大会（主催＝警察庁）が9月5日、日本武道館で開催された。

柔道男子は7階級で争われ、100kg超級は木下泰成（兵庫）が初優勝、100kg級は辻本拓記（兵庫）が2度目の優勝、90kg級は高橋良介（警視庁）が初優勝、81kg級は中園史寛（福岡）が2連覇、73kg級は大畑侑介（宮崎）が2度目の優勝、66kg級は久間康寛（警視庁）、60kg級は右田晃介（福岡）がそれぞれ初優勝した。柔道女子は3階級で争われ、63kg超級は市橋寿々華（大阪）が再び咲いて4度目の優勝、63kg級は荒木穂乃佳（兵庫）が2連覇、52kg級は垣田恵利（兵庫）が3連覇した。

剣道男子は、決勝で安藤翔（北海道）が、横尾徹（神奈川）を破って念願の初優勝。剣道女子は、山本真理子（大阪）が、阿部美洸（警視庁）を破って昨年の雪辱を果たして、通算5度目の優勝を飾った。



柔道男子 100kg 超級決勝＝木下（右）対今泉



柔道女子 63kg 超級決勝＝市橋（上）対藤原

柔道

男子 100 kg 超級

木下泰成（兵庫）が初優勝

女子 63 kg 超級

市橋寿々華（大阪）再び咲き

大会には、皇宮警察本部、警視庁、各道府県警察の選抜選手が出場。試合は、柔道が男女ともに4分間の一本勝負。時間内に勝敗が決しない場合は、ゴールデンスコア方式による時間無制限の延長戦が行われた。

剣道は時間無制限の一本勝負で行われ、所属する各都道府県警察の威信をかけた熱戦が繰り広げられた。

■柔道（男子 100 kg 超級）

100 kg 超級の決勝は木下泰成（兵庫）と今泉雪太郎（栃木）の対戦。両者が消極的な姿勢でそれぞれ指導2つを受けて3分が経過。木下が背負落で今泉を畳に叩きつけると、そのまま崩上四方固で一本。木下が初優勝を収めた。

◎優勝Ⅱ木下泰成選手（兵庫）

「5年前に100 kg級で準優勝してか

らベスト8止まりだったので、やっと優勝できて嬉しいです。今後も出る試合には全て勝つつもりで頑張りたいと思います」

■柔道（女子 63 kg 超級）

昨年、大会4連覇を阻まれた市橋市橋寿々華（大阪）は、雪辱を果たすべく順当に決勝に駒を進める。相手は同じ大阪で初出場の藤原恵美。

開始40秒、市橋は藤原が右脚で技かける前にこれを封じ、藤原が体勢を崩して畳に倒れる。市橋は亀になった藤原を引っ繰り返して上四方固で一本勝。藤原の挑戦を退けた市橋が優勝、見事に再び咲いた。

◎優勝Ⅱ市橋寿々華選手（大阪）

「（決勝の藤原選手は）よく稽古する仲で、お互いに手の内が分かっているの、自分の力を全て出し切ろうという気持ちで頑張りました。講道館杯も優勝目指して頑張ります」

剣道

男子 安藤 翔(北海道)初優勝に輝く
女子 山本真理子(大阪)女王の座奪回

■剣道(男子)

決勝戦には、昨年王者の大城戸知(大阪)、勝見洋介(神奈川)、竹ノ内佑也(警視庁)など並み居る強豪を破って勢いに乗る安藤翔(北海道)と横尾徹(神奈川)が勝ち上がった。

静かな立ち上がりから膠着状態が続いて9分が経過。安藤が横尾の面を果敢に狙い、素早く横尾の右面を打つと見事に横尾を捉えて一本。安藤は嬉しい初優勝を果たした。

◎優勝 安藤翔選手(北海道)

「嬉しさというよりもホッとした気

持ちの方が強いです。最終的には全日本での優勝が目標なので驕ることなく精進していきたいと思っています」

■剣道(女子)

過去4度優勝経験のある山本真理子(大阪)は、盤石の強さで決勝の舞台へ。相手は昨年覇者の阿部美洸(警視庁)。奇しくも昨年と同じ顔合せとなった。試合は両者一歩も譲らずに24分が経過。山本は攻めの手を緩めず、一瞬居着いた阿部に思い切った鋭い面を放つと一本。山本は、栄えある5度目の優勝に輝いた。

◎優勝 山本真理子選手(大阪)

「今までこの大会では優勝しかなかったという気持ちでしたが、今年は榮な気持ちで、練習してきたことや経験してきたことを出すことができました」

【大会結果】

■柔道

◇男子

▽100kg超級 ①木下泰成(兵庫) ②今泉雪太郎(栃木) ③川北大祐(大阪)、藤原浩司(長崎)

▽100kg超級 ①辻本拓記(兵庫) ②長尾翔太(兵庫) ③古田卓也(福岡)、宮崎賢司(神奈川)

▽90kg級 ①高橋良介(警視庁) ②五十嵐遼介(新潟) ③寺本裕基(兵庫)、古居頌悟(愛知)

▽81kg級 ①中園史寛(福岡) ②糸井滉平(大阪) ③北浦大基(兵庫)、遠江幸佑(佐賀)

▽73kg級 ①大畑侑介(宮崎) ②細木智樹(皇宮) ③村上洋平(大阪)、古川太一(鳥取)

▽66kg級 ①久間康寛(警視庁) ②西山祐貴(警視庁) ③佐々木貴大

◇女子

▽60kg超級 ①市橋寿々華(大阪) ②藤原恵美(大阪) ③小原祥子(山梨)、赤嶺麻佑(沖縄)

▽63kg級 ①荒木穂乃佳(兵庫) ②北岡京(兵庫) ③兼松幸加(大阪)、谷内美希(大阪)

▽52kg級 ①垣田恵利(兵庫) ②増田沙由美(警視庁) ③池田千華(警視庁)、小泉友香理(滋賀)

◇男子 ①安藤翔(北海道) ②横尾徹(神奈川) ③江島千陽(大阪)、岡光健太郎(千葉)

◇女子 ①山本真理子(大阪) ②阿部美洸(警視庁) ③津田佳菜子(兵庫)、豊丸芳(大阪)



剣道男子決勝=安藤(右)の面が決まる

剣道女子決勝=山本(左)対阿部

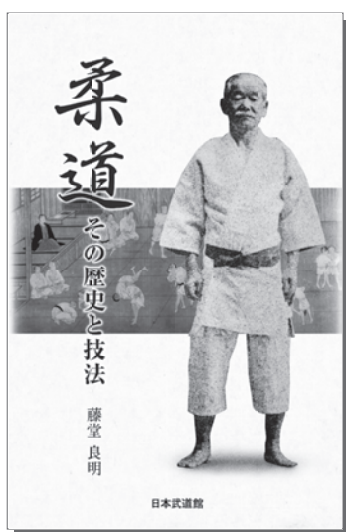
好評発売中!

柔道

その歴史と技法

筑波大学体育系教授 藤堂 良明 著

「原点に帰る」には、「原点を知る」必要がある。



四六判・上製・330頁・本体2,400円+税

柔道の歴史を振り返りつつ、その技法が、どのように形作られてきたのかを、丁寧に解説しています。



武道の稽古は、技を通して精神を磨き、やがて社会のためになるという教育の道でもあった。時代は移り変われども、日本の伝統に培われた「武道としての柔道」を見失わないでいただきたいと願うものである。(本書「あとがき」より抜粋)

目次

第一章 組討ちの起こりと技法 体術の起こりと技法 組討ちの体系化と技法	第三章 講道館柔道の歴史と技法 講道館柔道の創設と技法 嘉納治五郎の乱取開発 講道館柔道の行事と整備 警視庁武術大会の勝利と技法 学校体操への柔道導入の試み 学校における柔道普及の実態 高専柔道の起こりと技法 嘉納治五郎の他武道への接近 精力善用国民体育の創案と技法 全日本柔道選士権大会の開催と技法	第四章 第二次世界大戦後の柔道復活と技法 第二次大戦中の柔道界と技法 第二次大戦後の柔道禁止と復活 格技柔道から武道柔道へ 女子柔道の競技化と技法
第二章 柔術諸流派の歴史と技法 竹内流腰廻 関口新心流柔術 起倒流柔術 起倒流柔道 直信流柔道 真之神道流柔術 天神真楊流柔術	第五章 柔道技法の変遷と国際化への課題 柔道技法の変遷と特徴 柔道の国際的普及と発展 段位制度の国際比較 柔道の国際化と課題	

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本



日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)



BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集:アレキサンダー・ベネット

(B5判・上製・DVD付・336頁)

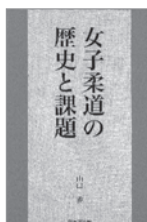


役に立つ 少年柔道指導法

講道館道場指導部課長

向井 幹博 著

(A5判・並製・DVD付・414頁)



女子柔道の 歴史と課題

筑波大学体育系准教授

山口 香 著

(四六判・上製・412頁)



マンガ・ 武道のすすめ

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

(B5判・並製・236頁)



武道における 身体と心

神戸学院大学教授

前林 清和 著

(四六判・上製・370頁)



柔道は すばらしい

柔道塾紀柔館館長

腹巻 宏一 著

(四六判・上製・310頁)



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

(四六判・上製・370頁)



大先輩に聞く

月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

(四六判・上製・376頁)



武道 子どもの心を育む

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

(四六判・上製・410頁)



柔道の国際化 —その歴史と課題—

講道館図書資料部長

村田 直樹 著

(四六判・上製・552頁)



嘉納治五郎師範に学ぶ

講道館図書資料部長

村田 直樹 著

(四六判・上製・292頁)

日本武道学会第50回記念大会

第2回国際武道会議



国際シンポジウム

武道と大衆文化の共生を検討

日本武道学会第50回記念大会が9月6日～8日の3日間、大阪・関西大学千里山キャンパスで開催された。今回は第2回国際武道会議として開催し、一般研究発表（人文・社会科学系、自然科学系、武道指導法系、国際セッション、ポスター発表）での、国際セッションとポスター発表は英語のみで発表された。

初日の午後には、一般研究発表の後、山折哲雄^{やまおりてつお}国際日本文化研究センター名誉教授による記念講演「刀と銃」が行われた。

2日目の午後には、国際シンポジウム「武道とマッシュアルーツ——伝統文化と大衆文化のクロスオーバー」が、時間を区切った3つのセッションで実施された。

そのほか、柔道、剣道、空手道・弓道、なぎなた、障害者武道の各専門分科会や武道学会総会が開かれた。

記念講演

6日午後4時より、国際日本文化研究センター名誉教授の山折哲雄氏による、記念講演「刀と銃」が行われた。

▽講演要旨

日本の刀は、美術館や博物館に美術品や文化財として展示され、海外の美術館でも美しく飾られている。刀は人を殺すための武器として発達したにもかかわらず、なぜ美の殿堂に飾られるようになったのか。

それは、日本人が刀に対する独特

の感覚を生み出すことになったからである。古代から中世にかけて、武士が人を処罰する仕事を担い、人を殺すことによって世の中の秩序を保っていた。しかし、武士といえども、人を殺すことや死に対して一種の恐れを持っていた。そのような感覚の中で、日常的に使用する刀に染み込んだ、死や血の穢れ^{けがれ}を浄化するという発想に辿り着き、刀から穢れを取り除く観念が生まれたのである。

また、織田信長や豊臣秀吉、徳川家康が天下統一を目指した16世紀では、戦闘形式も変化した。その過程の中で、刀の研磨の技術の向上や鉄



国際シンポジウム・セッション1のパネリストたち

左からゼデンコ・レギュリー氏、アンドリアス・ニハウス氏、W. シナルスキー氏



山折哲雄氏

砲の伝来によって、刀に対する感覚もまた変化していった。

日本は刀狩令などによって武器を農民から取り上げ、結果として日本は鉄砲の使用を放棄したが、そこに注目したのがノエル・ペリンである。彼は日本が鉄砲を自ら捨てた理由について、全人口に対する武士階級の割合、日本が海に囲まれていること、そして刀に対する尊敬の意であると述べている。

また、ジャレド・ダイアモンドは、人類の歴史において、刀の研磨の技術を最も高度に発達させてきたのは日本であるとも論じている。

ルース・ベネディクトは、刀は日本近代の軍国主義と一体化し、また天皇制の象徴として刀が崇拜されてきたとも語っている。

なぜ日本人は鉄砲を捨て、刀に対する畏敬の念を持つようになったのか。現代において日本刀が美術品として扱われていることを再評価してほしい。そして、刀と銃の歴史を比較することが武道の今後を考えるために必要であり、これは武道のみならず、日本の将来を考える上で極めて重要なテーマであると結んだ。

国際シンポジウム

▽セッション1「伝統文化とマージナルアーツ——保存か発見か、あるいは創造か？」

このセッションは、ゼデンコ・レギュリー氏（チェコ・マサリク大学准教授）、アンドリアス・ニハウス氏（ベルギー・ゲント大学教授）、W・シナルスキー氏（ポーランド・ジェシユフ大学教授）の3氏のパネリストを迎えて行われた。

3氏は、西洋の映画で描かれている武道の姿と本来の武道の姿との差異、漫画を通じた武道の普及、大衆文化として伝えられるべき武道の普遍的な価値について論じた。

▽セッション2「大衆文化と武道

——武道の魅力とは何か？」

はじめに、井上俊氏（大阪大学名誉教授）が、武道は「伝統文化」であるとともに、時代に適応していく「近代文化」でもあると述べ、各時代における武道を扱ったアニメや映画の比較を行った。

次に、鈴木康史氏（奈良女子大学

准教授）が、武道の近代化の歴史は、大衆文化の歴史であると捉えることができ、武道を後世に伝える手段として漫画やアニメなどが、大衆の物語の題材になりうるのではないかとした。

最後に、山田奨治氏（国際日本文化研究センター教授）が、弓道を扱った小説やアニメにおける不正確な描写によって、弓道経験者とそうでない人で弓道に対するイメージのずれが生じてしまうことを語った。

▽セッション3「武道文化とは何か——大衆文化と伝統文化の交差の研究」

アンドレア・モレー氏（アメリカ・チャップマン大学助教授）とダヴィッド・グロッフ氏（明治大学特任講師）が登壇した。

まず、モレー氏が米国における道場の分布と社会情勢の相関関係、武道と平和の関係性について述べた。続いて、グロッフ氏が武道は日本の伝統文化の延長線上に存在していることを説明。優雅さなどの独特な美学こそが武道の魅力であると論じて、国際シンポジウムは終了した。

一般研究発表 発表者一覧②

国際セッション

発表者	所 属
Andrea KRALIK	University of Tsukuba
Sotaro HONDA	University of Teacher Education Fukuoka
Shinji HAMANISHI	Sendai National College of Technology
Nobuyuki SAKAI	Yamaguchi University
Lucas GUIMARÃES-FERREIRA	Budo Kenkyukai, Center of Physical Education and Sports, Federal University of Espirito Santo
Vinicius AGUIAR DE SOUZA	Tohoku University
Hiromi HISHIKI	The Karatedo Specialist Subcommittee
Ryo TAKAHASHI	Sendai University
Fernanda Todeschini VIERO	State University of Santa Catarina
Naoki MURATA	Kodokan Judo Institute
Yuya SATO	Graduate School of Sport System, Kokushikan University
Susumu NAGAO	Meiji University
Kazuhiko KUBOYAMA	Nippon Sport Science University
Thabata Castelo Branco TELLES	Universidade de São Paulo
Safet KAPO	Faculty of Sport and Physical Education, University of Sarajevo
Kantaro MATSUI	International Budo University
Kenneth Gale DAVIS	Retired Veteran Navy/Army
Alexander BENNETT	Kansai University
Michael CALLAN	University of Chichester
Xin CHEN	College of Physical Education, Southwest University
Cristiano Roque Antunes BARREIRA	University of São Paulo
Zdenko REGULI	Masaryk University
Michal VIT	Masaryk University
Tanya GOMEZ	National Institute of Fitness and Sports in Kanoya
Abel FIGUEIREDO	Polytechnic Institute of Viseu Portugal-Center for the Study of Education, Technologies and Health
Jorge Carlos LAFUENTE	University de León
Gil Vicente NAGAI LOURENCAO	State University of Campinas
Maja SORI DOVAL	Tsuda University
Akitoshi SOGABE	Konan University
Masatoshi SAITO	Kobe Shinwa Women's University
Amanda SPENN	University of Wolverhampton
Kiyoshi ITO	Fuji University
Husnija KAJMOVIC	Faculty of Sport and Physical Education, University of Sarajevo
Geert CLAES	University of Chichester
Shusaku KIRYU	Kodokan Judo Institute
Hironori HAYASHI	Biwako Seikei Sport College
Sentaro KOSHIDA	Ryotokuji University
Naoki ITAMI	Waseda University
Takeru SATO	Kogakkan University

武道指導法系

発表者	所 属
Koji YAMAMOTO	Kobe University of Welfare
Chihiro TAKAHASHI	Graduate School, International Budo University
Toshihiro TAKEZAWA	Kanto Gakuen University
Ryuji HARADA	International Budo University
Noriko NARAZAKI	University of Teacher Education Fukuoka
Kazuhiro NAKAMURA	Fukuyama University
Yuji OZAWA	Kumamoto University
Takayori TOKUDA	Graduate School, University of Teacher Education Fukuoka
Motohiro KIHARA	Naruto University of Education
Yuta FUTAGAMI	Graduate School, Kagawa University
Taketo MATSUNAGA	Graduate School, University of Teacher Education Fukuoka
Go SEGAWA	Doctoral Program in Coaching Science, University of Tsukuba
Mika SHIMOKAWA	National Institute of Fitness and Sports in Kanoya
Tadanori UCHIYAMA	Graduate School, University of Teacher Education Fukuoka
Kaori FURUTA	Hiroshima University
Yuichi TOMIZAWA	Graduate School of Physical Education, Tokai University
Masayuki WATANABE	Osaka Sangyo University
Mitsushi HIROKAWA	Toin University of Yokohama
Shuhei KIMURA	Kawanishi Midoridai Junior High School
Syuji OSHIMA	International Budo University
Michito SAKAMOTO	Fukuoka University
Noriyuki SANNOHE	Akita University
Naoto ISHII	National Institute of Technology, Akita College
Kazuhiro SHIBATA	Ryutsu Keizai University
Motonobu ISOMURA	Tokyo Metropolitan Board of Education Akirudai High School
Kyuma MITSUDOME	Tokyo Metropolitan Oshukan Secondary School
Shohei MORI	Kokushikan University
Susumu HASEGAWA	Yokohama National University



一般研究発表 発表者一覧①

人文・社会科学系

発表者	所 属
Tzu Ning HONG	Historical Society of Formosan Kyudo Research
Tomotsugu GOKA	University of Tsukuba
Takashi WADA	Prefectural University of Hiroshima
Jun-ichi KATO	Bunkyo University
Kunio MORIMOTO	Hiroshima Prefectural Saeki High School
Yoshihiko HIRANO	Kyoto University of Foreign Studies
Ryosuke OZAKI	Graduate School of Health and Sports Science, Juntendo University
Ryozo HIRATA	Aoyama Gakuin University
Toru KADEKARU	Institute for Global Education, University of the Ryukyus
Kenya UCHIDA	Yamanashi Branch of JAB
Yoshitaka KARUKOME	Tenri University
Masami MURABAYASHI	Tokai Branch of JAB
Kyou CYOU	International Budo University
Chang LIU	Graduate School of Sport Sciences, Waseda University
Koji KAZUMA	Kogakuin University
Koya SATO	Graduate School of Sport Sciences, Waseda University
Tomoyuki KIKUMOTO	Tokoha University

自然科学系

発表者	所 属
Yoshiharu FUJIEDA	Fukui Health Science University
Isao YOSHIDA	Graduate School, Tenri University
Ikuko INAGAWA	Tokoha University
Hatsuyuki HAMADA	National Institute of Fitness and Sports in Kanoya
Takeshi TSUBAKI	Kobe Shinwa Women's University
Kentaro TAKAHASHI	Kanto Gakuin University
Kazuo HASHIZUME	University of Toyama
Hidekazu SHODA	Sohgo Security Services Co. Ltd.
Manabu SANOMURA	Faculty of Medical Technology, Teikyo University
Kazuhiko KAWABATA	Kwanseigakuin University
Takanori ISHII	Ryotokuji University

好評発売中

脳生理学者・医師
東邦大学名誉教授

有田 秀穂 著

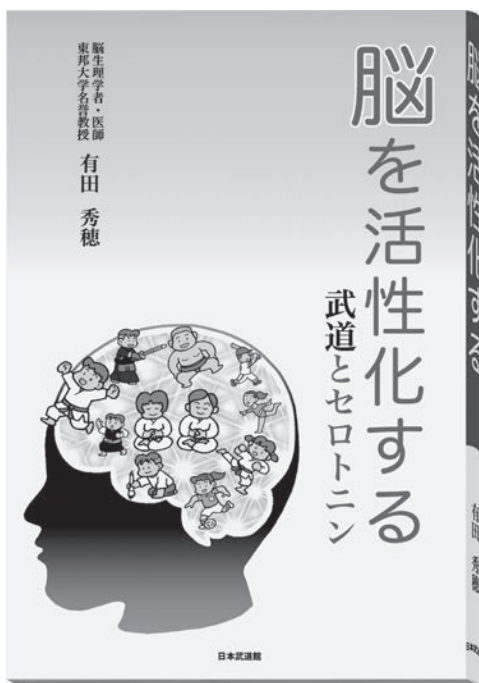
脳を活性化する

武道とセロトニン

人間の心身を安定させ、「無心」の状態を作るセロトニン神経―その研究の第一人者が、丹田呼吸法を手懸かりに、武道や禅、日本文化を題材として、誰もが
できる脳を活性化する方法をわかりやすく解説。

脳を活性化する

武道とセロトニン



A5判・並製・346頁・1600円+税

有田 秀穂
(ありた・ひでほ)

昭和23年(1948)東京都生まれ。東京大学医学部卒業。東海大学医学部助手、筑波大学基礎医学系講師、東邦大学医学部教授を経て、現在、東邦大学名誉教授。脳生理学者、医師。セロトニン道場代表。



主な内容

第1部 脳の活性化とは

坐禅とセロトニン

ストレスとしごき

空海はセロトニン活性の達人

『弓と禅』に学ぶ身体トレーニング

沢庵の「不動智」とワーキングメモリー

不動明王と心の三原色

『弓と禅』に学ぶ無意識の自己意識

悪夢を消すには?

精進料理とセロトニン合成

「茶の湯」とセロトニンの生活

「自然に体が動いた」を脳科学で解く

勝海舟の「明鏡止水の心」を脳科学する

「武道の礼法」は社会脳を育む

相撲の「四股」は品性を育む

書道も心技体の人間修行

アンドロゲンと闘争心

日本の祭にはセロトニンがたっぷり

スキンシップとオキシトシン

空手の稽古は坐禅修行に通じる

脳は「丹田呼吸法」をどう操るか

試合における最適な覚醒状態

サイエンスは「気」をどこまで解明したか

仙人術を脳科学する

第2部 対談「武道で脳を活性化しよう」

日本武道館会長

松永 光

東邦大学名誉教授

有田 秀穂

：他

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

好評発売中！

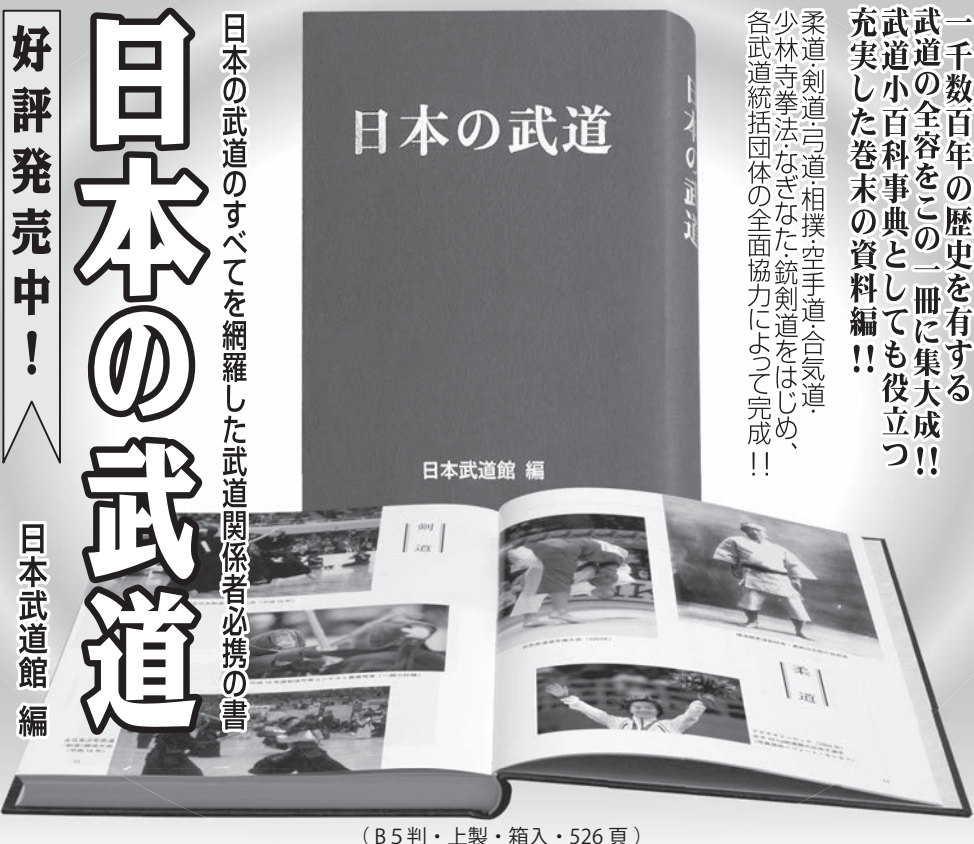
日本武道館編

日本の武道

日本武道館 編

一千数百年の歴史を有する
武道の全容をこの一冊に集大成!!
武道小百科事典としても役立つ
充実した巻末の資料編!!

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・
少林寺拳法などなごた銃剣道をはじめ、
各武道統括団体の全面協力によって完成!!



(B5判・上製・箱入・526頁)

目次

序章

刊行の辞：塩川正十郎 日本武道館・日本武道協議会会長
刊行にあたって：松永 光 日本武道館理事長
武道のすすめ：養老孟司 東京大学名誉教授
武道憲章（「武道憲章」・「武道憲章英訳文」）
カライ口絵（日本武道館・9武道・10日武協30年のあゆみ）

第1章 日本の武道

第1節 日本の武道…………… 杉江正敏 大阪大学教授
第2節 武士道から武道へ…………… 菅野寛明 東京大学大学院教授
第3節 武道の近代化…………… 嘉納治五郎師範の教え…………… 村田直樹 講道館図書資料部長
第4節 武道の魅力…………… 大保木輝雄 埼玉大学教授

第5節 学校武道の歴史…………… 本村清人 東京女子体育大学教授
第6節 武道の教育力…………… 菅野 純 早稲田大学教授
第7節 日本武道館…………… (財)日本武道館

第2章 日本の古武道

第1節 日本の古武道…………… 横瀬知行 古流武術研究者
第2節 古武道の技と心……………

第3章 現代の武道

第1節 柔道…………… (財)全日本柔道連盟
第2節 剣道…………… (財)全日本剣道連盟
第3節 弓道…………… (財)全日本弓道連盟
第4節 相撲…………… (財)日本相撲連盟
第5節 空手道…………… (財)全日本空手道連盟
第6節 合気道…………… (財)合気道連盟
第7節 少林寺拳法…………… (財)少林寺拳法連盟
第8節 なぎなた…………… (財)全日本なぎなた連盟
第9節 銃剣道…………… (社)全日本銃剣道連盟

第4章 組織・研究機関

第1節 日本武道協議会……………
第2節 全国都道府県立武道館協議会……………
第3節 日本武道学会……………
第4節 日本古武道協会……………
第5節 武道学科等設置大学…………… ①国際武道大学 ②国士館大学
③東海大学 ④日本体育大学 ⑤鹿屋体育大学 ⑥中京大学
⑦天理大学 ⑧筑波大学

第5章 資料編

第1節 役員名簿・組織図……………
第2節 日本武道協議会武道功労者一覧……………
第3節 全日本選手権大会優勝者一覧……………
第4節 年表「武道・近代百四十歩の歩み」中村民雄 福島大学教授
第5節 学校体育における武道の変遷…………… 本村清人 東京女子体育大学教授
第6節 武道主要参考図書…………… (現職・法人名は刊行時)

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ<http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158



月刊「武道」は、全国の書店で販売しています。